

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 5 月 19 日

事務事業名		地域福祉計画策定事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	010401000928
				単独/補助	単独	所属課	040101
政策体系	総合計画の施策名	0104	地域福祉の推進			課長名	社会福祉課
	政策名	01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり			グループ	社会福祉G
	施策名	04	地域福祉の推進			担当者名	
	手段名	01	①地域福祉活動の推進				
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	03	01	01	02	00	社会福祉総務事業
法令根拠	社会福祉法			☒ 単年度繰返し (年度～) ☐ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要										
手段	①事務事業の概要（事務事業の全体像）					②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	【業務の内容】 ・地域福祉計画の策定は、社会福祉法第107条（市町村地域福祉計画）の規定に基づき、各地方自治体が主体的に取り組むこととなっている。 ・地域福祉計画期間は、桜川市の基本計画である桜川市第1次総合計画との連携を図るため、平成23年度～平成28年度までの6年としている。第2次についても総合計画と合わせるため平成29年度～令和3年度までの5年間を計画とした。 ・第3次についても総合計画（後期基本計画）に合わせ令和8年までの5年間を計画するため令和3年度に策定をする。 ・保健・医療及び福祉関係者、市民団体等の関係者、学識経験を有する者等を委員とする計画策定委員会を設置し、計画策定に関する事項を審議する。					【担当が行った業務の内容】 ・計画策定委員会に関すること ①計画策定委員会の選任・委嘱 ②会議の開催（4回） ③委員への報酬支払 ④委託業者への委託料支払 ・計画策定に関すること ①委託業者との打ち合わせ ②アンケート調査の実施 ③これまでの計画の振り返り（現状と課題）・関係課へ調査依頼、とりまとめ ④計画（案）の作成・印刷製本				
(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移										
①手段（担当者の活動内容）			④活動指標（活動量を表す指標）		単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
・地域福祉計画の策定は、社会福祉法第107条（市町村地域福祉計画）の規定に基づき、主体的に取り組む。			計画策定委員会開催回数		回	0.00	0.00	4.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）			⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）		単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
福祉活動に取り組んでいる人			地域活動に取り組んでいる人		人	0.00	0.00	20.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）			⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）		単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
地域で福祉活動を行う団体が増え、活動が活発に行われる。			計画策定委員会開催回数		回	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00
			計画策定委員会出席者数（延べ人数）		人	0.00	0.00	80.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(3) 投入量（事業費）の推移			01年度 （実績）		02年度 （実績）		03年度 （計画）		期間限定 総投入量	
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0				0
		県支出金	千円	0	0	0				0
		地方債	千円	0	0	0				0
		使用料・手数料	千円	0	0	0				0
		その他	千円	0	0	0				0
		一般財源	千円	0	0	4,841				0
		事業費計（A）	千円	0	0	4,841				0
		正規職員従事人数	人	0.00人	0.00人	2.00人				
事業費の内訳	02年度事業費 実績（千円）				03年度事業費 予算（千円）					
					01 報酬	168				
					10 需用費	9				
					12 委託料	4,664				

事務事業名	地域福祉計画策定事業	事務事業No.	10401000928	所属課	社会福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
・桜川市の基本計画である桜川市第1次総合計画との連携を図るため、平成23年度～平成28年度までの6年としている。第2次についても総合計画と合わせるため平成29年度～令和3年度までの5年間を計画とした。 ・第3次についても総合計画（後期基本計画）に合わせ令和8年までの5年間を計画するため令和3年度に策定をする。 ・保健・医療及び福祉関係者、市民団体等の関係者、学識経験を有する者等を委員とする計画策定委員会を設置し、計画に関する事項を審議する。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
計画策定により終了するのではなく、その後の進捗管理に努めていただきたい。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	☒ 結びついている	社会福祉法第107条（市町村地域福祉計画）の規定に基づく計画の策定であり、市の政策体系に結び付いている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	☒ 妥当である	社会福祉法第107条（市町村地域福祉計画）の規定に基づく計画の策定であり、公共関与は妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	☒ 向上余地がない	社会福祉法第107条（市町村地域福祉計画）の規定に基づく計画であり、これまでの計画の振り返りやアンケート調査の基に、保健・医療及び福祉関係者、市民団体等の関係者、学識経験を有する者等を委員とし、専門的見地から審議をいただく。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	☒ 影響有	社会福祉法第107条（市町村地域福祉計画）の規定に基づく計画の策定であり、廃止することはできない。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） ☐ 具体的な手段、事務事業名	☒ 余地がない	社会福祉法第107条（市町村地域福祉計画）の規定に基づく計画の策定であり、他に手段はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	☒ 削減余地がない	事業を委託し、効率的に事務事業を遂行し、委託業者との連携した取り組みの中で素案の作成、会議の開催等に時間を要し、事業費・人件費を削減する余地はない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	☒ 公正・公平である	社会福祉法第107条（市町村地域福祉計画）の規定に基づく計画の策定であり、一部の受益者に偏っているとはいえない。
公平性			

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 平成28年度（2016）に作成し、次回は5年後の令和3年度（2021）に作成予定。																						
(3) 今後の事業の方向性 ☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☐ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ④																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価 ☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		確認欄 ☐	